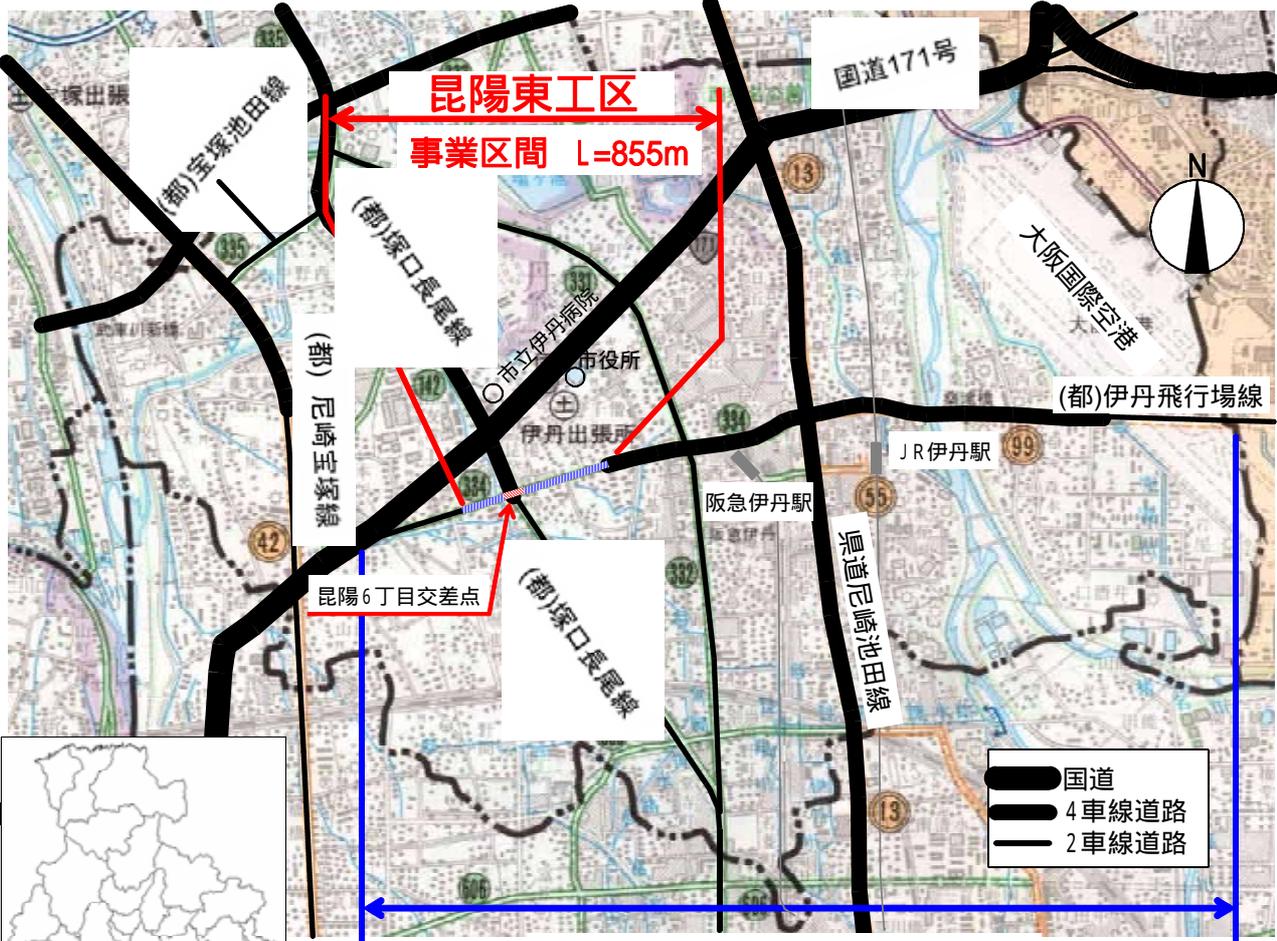


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局 都市整備課
担当課長名：奥田 舘夫

事業名 都市計画道路 伊丹飛行場線外1線 <small>いたみひこうじょうせんほか1せん</small>	事業区分 街路	事業主体 兵庫県
起終点 自：兵庫県伊丹市昆陽6丁目 <small>ひょうごけんいたみしこやうくちようめ</small> 至：兵庫県伊丹市千僧5丁目 <small>ひょうごけんいたみしせんぞちちようめ</small>	延長 0.9 km	
事業概要 本路線は、国道171号から伊丹市中心市街地、県道尼崎池田線を経て大阪国際空港へ連絡する阪神間の東西幹線道路である。沿道には市役所等をはじめとするシビックゾーン、阪急伊丹駅周辺を中心市街地があり、日常生活や経済活動を支える骨格となる道路網を形成している。このため、増加する交通量に対処し、慢性的な渋滞解消、歩行者、自転車利用者の安全性向上を図るため早期整備が必要である。		
H11年度事業化	S25年度都市計画決定	H11年度用地着手
全体事業費 ：4.9億円 事業進捗率 ：9.8% 供用済延長 ：0.3 km		
計画交通量 ：16,200台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 4.4 (残事業) 15.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 3.4/54億円 (事業費：3.3/54億円 維持管理費：0.06/0.44億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 51/237億円 (走行時間短縮便益：50/231億円 走行経費削減便益：1.4/5.5億円 交通事故削減便益：0.07/0.23億円)
基準年 ：平成20年		
事業の効果等 本事業区間の整備により、伊丹市の中央部の都市軸が形成され、地域が活性化する。災害時においては市役所等のシビックゾーンへの避難路としての機能を発揮できる。また、路線の両側にゆとりのある歩行空間を確保することにより快適性が向上する。		
関係する地方公共団体等の意見 伊丹市都市計画マスタープランでは都市軸のうちの「中央東西軸」に位置づけられている路線である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 本事業区間の東側は県道尼崎池田線までの間を平成12年度に完了、本事業区間と交差する南北幹線道路である塚口長尾線が宝塚市境まで平成19年度に完了している。更に西側に隣接する残る国道171号までの区間は平成19年度に事業着手している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率は99%であり、工事は用地買収済み箇所から順次工事を進めていく。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残りの未買収地1件買収し、昆陽6丁目交差点の改良を行い、平成21年度の完成を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 特になし		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 事業の実施により、慢性的な交通渋滞や交通事故の多発という課題が解消され、また、都市軸の形成による都市機能の向上、道路植栽や電線類の地中化等による快適な都市空間の形成などが見込まれるため、事業継続が妥当である。		
事業概要図 次頁参照		



都市計画道路 伊丹飛行場線

凡 例	
	H 1 1 ~ 2 0
	H 2 1 以降

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。